

JAグループ鳥取自己改革推進レポート（11月号）

1. 「JAの自己改革に関する組合員調査」について

- (1) JA全中が実施している「JAの自己改革に関する組合員調査」の第2次調査は、第1次調査（H30.12～H31.4.30）で実施できなかった組合員を対象に、令和元年5月から令和元年12月まで実施されている。
- (2) 直近の各JAの取り組み状況は、県下全体で51.5%だった。調査終了まで残り1か月となり、さらに取り組みを加速させる必要がある。なお、第1次調査及び第2次調査を合わせた最終的な調査結果には、令和2年5月以降に公表される予定である。

【県下進捗状況の推移】

JA名	第1次調査中間 (H31.2)	第1次調査 (R元.5)	※直近
いなば	27.0%	39.5%	47.2%
中央	33.7%	51.1%	65.1%
西部	21.0%	34.8%	46.2%
合計	26.8%	41.3%	51.5%

※直近は、いなば：11/22、中央：10月末、西部：11/14時点での進捗率。

2. 鳥取県県中学校駅伝競走大会へ協賛品提供

10月16日鳥取市「布勢総合運動公園」で、鳥取県県中学校駅伝競走大会が開催された。JAグループ鳥取も協賛し、県産米等の提供を通じ、次代を担う若者を応援した。男女優勝チームに決勝ゴールテープや県産米「きぬむすめ」計44キロ、生徒数150人以内で最高位（優勝を除く）の学校に「わかば賞」として梨「新興」計20キロを提供した。



(4) JA全農とっどりのJA自己改革の実践

① 星空舞本格デビュー

鳥取県が20年の歳月をかけて開発した米新品種「星空舞」が10月1日より本格デビューした。9月下旬からその販売促進イベントを各地で行い、県内はもちろん関東・京阪神の各地で「星空舞」の全国PRを行っている。

【各PR活動】



- 1) 9月14日(土)「星空舞」稲刈り
- 2) 9月21日(土)県内プレデビューイベント
- 3) 10月2日(水)日本海テレビ「鳥取めぐりヌーヴォー」に登場
- 4) 10月5日(土)JR大阪駅にて関西デビューイベント
- 5) 10月13日(日)東京スカイツリーにて「星空舞」コラボイベント
- 6) 10月29日(火)東京スカイツリータウンにて全国デビュー発表会
- 7) 11月9日(土)みのりみのるマルシェ鳥取の実り



(5) メイン強化先への訪問活動の取り組みについて (JA鳥取信連)

JAバンク鳥取では、将来にわたり関係を強化・再構築すべき農業者(個人・法人)をメイン強化先と位置付け、営農部門と信用部門(必要に応じて信連農業金融センター)と連携・同行訪問を行っている。

訪問活動では、農業者の現状・経営上の課題・JAへの意見要望や競合他社の動向等をヒアリングし、メイン強化先の営農改善・フォローアップを図るほか、顧客の資金等ニーズの的確な把握、アンケート調査実施と結果の活用により顧客満足(CS)の向上を図ることとしている。

今年度もメイン強化先に対し年2回の訪問を基本としている。今年度上期実績では、県下のメイン強化先211先に対し全先訪問済であり、下期においても訪問することとしている。

(6) 鳥取県立湖陵高等学校 JGAP 認証報告会の開催 (JA共済連鳥取)

10月21日に鳥取いなば谷口組合長・JA共済連鳥取森山本部長が参列のもと、鳥取県湖陵高等学校にてJGAP認証報告会が開催された。(令和元年7月30日認証)

この認証は、昨年度JA鳥取いなば・JA共済連鳥取が寄贈した教育実習機材等を活用して生産したトマトが、生産工程の安全管理等において認められたことによるものである。



認証報告会では、濱崎校長より「JGAPの審査員からはこれほど理解している生徒は初めてであると評価されたので、生徒には自信を持って今後も活動してもらいたい。また、JA鳥取いなば・JA共済連鳥取の支援のおかげで成り立っていることを理解してほしい。」と挨拶があった。

今後もJA共済では、鳥取県内の地域農業の発展のために様々な取り組みを行い、地域貢献活動をしていく。